

算 数

I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4) 学年間で指導内容を重複させるなど、適切な反復による学習が展開できるよう工夫されているか。
	(5) 思考の過程や判断の根拠などを、言葉や図、数、式、表、グラフなどを用いて表現し伝え合う活動が工夫されているか。
	(6) 数学のよさに気づき、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとするよう工夫されているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

Ⅲ 具体項目

算数

発行者		東 書	大日本	学 図
観点				
1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	(1) 教科の特質に「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとめの後の補助発問「それなら」や、問題解決の過程を振り返り新たな課題を見いだす「それなら次は？」を設けることで、自ら学び、能力を高めることができるよう配慮されている。 ・ 4～6年の「算数で読みとこう」に、自然観察、野菜価格の変動、海洋プラスチックごみといった今日的な課題を取り上げることで、社会性や人間性を養うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「じっくり深く学び合おう」を設定し、考えを表現する活動や問題に対する多様な解決方法を掲載することで、自ら学び、能力を高めることができるよう配慮されている。 ・ イラストや写真の中に、外国にルーツをもつ人々を掲載したり、SDGsを知ることができる特設ページを設けたりすることで、社会性や人間性を養うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2～6年では、単元導入に「？を発見」を設け、自分たちで問題や疑問を発見して学習を進めることができるようにすることで、自ら学び、能力を高めることができるよう配慮されている。 ・ 「算数をつかって」では、問題解決の過程で見付けた見方・考え方や解決の仕方を活用して、SDGsに関連した題材を取り上げることで、社会性や人間性を養うことができるよう配慮されている。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然に関する題材が扱われているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6年「およその面積と体積を求めよう」で、自分が住んでいる都道府県の面積を求める学習を設定することで、郷土への関心を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5年「単位量あたりの大きさ」に、九州の人口密度を求める学習を設定することで、郷土への関心を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6年「つりあいのとれた形の分類や性質をしらべよう」に、長崎県のNマークを掲載することで、郷土への関心を高めることができるよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

算数

発行者 観点	教 出	啓林館	日 文
1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	(1) 教科の特質に「応じて、」の育成に資する内容、構成となっており、 「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が (2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自 ら学ぶ、能力を高めることができるよう配慮されている。	・ 2～6年の「算数の学習の進め方」では、数学的な見方・考え方を軸とした学習展開を示すことで、自ら学び、能力を高めることができるよう配慮されている。 ・ 統計的な問題解決の方法に沿って学習を振り返る場面や、「わくわくSDGs」で、SDGsについて考える場面を設定することで、社会性や人間性を養うことができるよう配慮されている。	・ 全学年において、「自分でみんなで」のページを設け、問題解決型の学習過程を具体的に示すことで、自ら学び、能力を高めることができるよう配慮されている。 ・ 3～6年の「算数ジャンプ」で、SDGsや環境保全などの今日的な課題や他教科とのつながりを意識した探究的な問題を取り上げることで、社会性や人間性を養うことができるよう配慮されている。
	・ 6年「拡大図と縮図」に、対馬の地図を基に実際の距離を求める問題を取り上げることで、郷土への関心を高めることができるよう配慮されている。	・ 6年「対称な図形」に、眼鏡橋の写真を、4年「小数」に、女神大橋の長さを取り上げることで、郷土への関心を高めることができるよう配慮されている。	・ 5年「帯グラフと円グラフ」に、長崎県のレタスの生産量を取り上げることで、郷土への関心を高めることができるよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

算数

発行者		東 書	大日本	学 図
観点				
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 単元末に「たしかめよう」、単元間に「おぼえているかな」、巻末に「ほじゅうの問題」を設けることで、個に応じて、基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。 2年以上の巻末に「ふりかえりコーナー」を設け、児童のつまずきや誤答の多い内容を優先して構成することで、基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2年以上の巻末「プラス・ワン」に、補充問題を豊富に設定することで、基礎的・基本的な知識・技能の習得や習熟度に応じた指導ができるよう工夫されている。 教科書を学年1冊にしたり、前の学年までの学習内容を参照できる振り返りコンテンツを掲載したりすることで、基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元末の「できるようになったこと」に適用問題を掲載したり、巻末に「ほじゅう問題」を設けたりすることで、基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。 2年以上の「算数パトロール隊」において、よくある誤答例や気をつけるべき注意点を示すことで、基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 吹き出しを効果的に活用し、各時間に身に付けた数学的な見方・考え方を可視化したり、学習したことを生かして考えたりする内容を位置付けることで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を右ページに、解決方法をめくったページに配置する構成を取り入れ、まずは自分なりに思考し、それを表現する活動が行えるようにすることで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習の計算の仕方やきまりを使って、新たな計算の仕方を考える単元として「計算のしかたを考えよう」を設定することで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

算数

観点 発行者	教 出	啓林館	日 文
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されている。 ・「毎時の学習」「単元のまとめ」「家庭学習」の各段階で、練習問題を豊富に設けることで、基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。 ・既習事項を振り返ることができる「学びのマップ」を設けたり、「考えるヒント」を掲載したりすることで、基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。	・単元末に「学びのまとめ」で理解を深めたり、巻末の「もっと練習」で補充問題や挑戦問題を用意したりすることで、基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。 ・「復習」や「練習」のコーナーを計画的に配置し、「練習」では「よくあるまちがい」を取り上げることで、基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。	・各単元に「直後の練習」を設けたり、単元末の「わかっているかな」に「まちがしやすい問題」を設けたりすることで、基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。 ・「次の学習のために」「学習をたしかに」を設け、学習内容を繰り返し取り上げることで、基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。
(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。	・2年以降に、テープ図と数直線の見方・かき方や、演算決定のときの活用の仕方を指導する単元を設定することで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。	・数量の関係や変化を図や表に整理して解決する「見方・考え方を深めよう」のコーナーを系統的に配置することで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。	・「自分でみんなで」において、問題解決的な学習の過程と具体的な着眼点を示すことで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

算数

発行者		東 書	大日本	学 図
観点				
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、 確かな学力の育成を図る上での特長	(2) 知識・技能を 活用して課題を 解決する表 現力等が育 成されるよう 工夫されている か。	<ul style="list-style-type: none"> 2年以上の「今日の深い学び」では、主体的・対話的な問題解決の過程を詳しく可視化したページを設定することで、思考力、判断力、表現力等が高まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2年以上で、巻頭に「算数の大切な考え方」を示したり、単元末に「見方・考え方をたしかめよう」を設定したりすることで、思考力、判断力、表現力等が高まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ブロックなどの半具体物や、図、表を使って考えを説明する「図や表を使って問題を考えよう」を、系統的に設定することで、思考力、判断力、表現力等が高まるよう工夫されている。
	(3) 主体的に学習に 取り組む態度が 身に付くよう 工夫されている か。	<ul style="list-style-type: none"> 2～6年の上巻巻頭の「学びのとびら」で問題解決の過程を示したり、「マイノートをつくらう」で書く活動の見通しをもたせたりすることで、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。 「単元プロローグ」では、学校や日常生活と関連した場面や活動を取り入れることで、算数の有用性や学習の楽しさを実感しながら主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2～6年の巻頭の「算数の学び方」で、学習の進め方や問題解決学習の流れや、生活や他教科に学習を生かす様子を例示することで、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。 単元導入の「新しい学習が始まるよ」では、児童自身が問題や疑問を見いだすことができる題材を設定することで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「算数の学び方」で、学習の進め方やノートの基本的な書き方、これまでの学びを振り返りながら、これからの学びに生かせることを示すことで、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。 2年以上の単元導入の「？を発見」では、日常生活や算数の学習の中で生じる疑問を取り上げることで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。

III 具体項目

算数

観点 発行者	教 出	啓林館	日 文
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、 確かな学力の育成を図る上での特長	(2) 知識・技能を 活用して課題を 解決する力、 思考力、判断力、 表現力等が高まる よう工夫されている。	・ 2年以上の巻頭に、「考えの進め方」を紹介したり、巻末の「学びをつなげよう」で次の学習につながる見方・考え方を示したりすることで、思考力、判断力、表現力等が高まるよう工夫されている。	・ 学習を進めるための手がかりとして、「学び方ガイド」や「算数で使いたい見方・考え方」を設けることで、思考力、判断力、表現力等が高まるよう工夫されている。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。	・ 2～6年の巻頭に「みんなで算数をはじめよう！」を設け、数学的活動を【はてな？→なるほど！→だったら！？】という問いの連続で示すことで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・ 単元導入の「きっかけ」で、身近な題材から問題を発見したり、単元末で、学習を日常場面に活用したりすることで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。	・ 2年以上の巻頭の「さあ、算数の学習をはじめよう！」で学習の流れを示し、「算数ノートをつくらう」で学びの過程の記述方法を紹介することで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・ 問題解決型の学習過程を具体的に示した「自分でみんなで」では、各ページの側注に学習のステップを示すことで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

発行者		東 書	大日本	学 図
観点				
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	(4) 学年間で指導内容を重複させるなど、適切な反復による学習が展開できるか。	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入では、既習内容を振り返り整理する場面を設定することで、新しい学習内容につなげて学習を展開できるよう工夫されている。 2～6年の巻末に、「ほじゅうの問題」や、単元の間「おぼえているかな」を設定することで、適切な反復による学習が展開できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「もくじ」では、既習事項とのつながりと今後の学習とのつながりを明示することで、系統性を意識しながら学習が展開できるよう工夫されている。 2年以上の巻末に、補充問題「プラス・ワン」や、単元の間「ふくしゅう」を設定することで、適切な反復による学習が展開できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「もくじ」では、既習単元や、次につながる単元を提示することで、他学年の学習とのかかわりを意識しながら学習が展開できるよう工夫されている。 巻末の「もっと算数」では、「ほじゅうの問題」と「ふかめよう」のページを設定することで、適切な反復による学習が展開できるよう工夫されている。
	(5) 思考の過程や判断の根拠などを、言葉や図、数式、表、グラフなどを用いて表現しているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「今日の深い学び」では、学習の進め方や話し合い活動を深める視点を明示することで、自他の考えを比較・検討し、それぞれの考え方のよさに気付くことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「じっくり深く学び合おう」では、解決方法を言葉で説明したり、図や式を結び付けたりする場면을例示することで、数学的な表現力を伸ばすことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を見て、「表したいな」「話したいな」などの場面を設定することで、学習過程のいつ、どの場面で表現し伝え合うのが効果的なのかを理解できるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

観点 発行者	教 出	啓林館	日 文
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	(4) 学年間で指導内容を重複させるなど、適切な反復による学習が展開できる ・「もくじ」や巻末「学びのマップ」では、本単元に関連する既習内容の振り返りを提示することで、他学年の学習とのつながりを意識することができるよう工夫されている。 ・巻末の「ステップアップ算数」では、「きほんの問題」と「ジャンプ問題」を設定することで、適切な反復による学習が展開できるよう工夫されている。	・「もくじ」では、学習する単元に関連する単元名を併記したり、単元導入時に「じゅんぴ」のページを設けたりすることで、系統性を意識することができるよう工夫されている。 ・学期中間や学期末の「復習」や、巻末の「学びのサポート」を設定することで、適切な反復による学習が展開できるよう工夫されている。	・単元導入時に「次の学習のために」を設定することで、既習内容とのつながりを意識しながら新しい学習へ取り組むことができるよう工夫されている。 ・学期末、学年末に「復習」ページや「算数マイトライ」を設定することで、適切な反復による学習が展開できるよう工夫されている。
	(5) 思考の過程や判断の根拠などを、言葉や図、数式、表、グラフなどを用いて表現しているか。 ・数学的な見方・考え方を「つながるミカタ」で具体的に示すことで、見方・考え方を働かせながら考えを伝え合い、思考を深めることができるよう工夫されている。	・よりよい解決のための数学的な見方・考え方を例示することで、見方・考え方を働かせながら対話的な学びを行うことができるよう工夫されている。	・2～6年の「自分でみんなで」では、話し合って結果を導き出す過程を例示することで、対話的な学びのイメージをもつことができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本	学 図
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(5) 授業や図、表、式、グラフなどを用いて表現しているか。思考の過程や判断の根拠などを、伝え合う活動が工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 図、表、式などを用いた数学的な表現例を提示し、算数科の特質を生かした言語活動例を示すことで、図、表、式などを関連付けた説明ができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じて、テープ図や数直線図のかき方を段階的に繰り返し取り扱うことで、図を活用して表現することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 図や表、式などをもとにしたいろいろな考え方や、それらを比較する場面を示すことで、多様に表現することができるよう工夫されている。
	<p>(6) 数学のよさに気づき、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単元末に、単元全体を振り返り、上学年の見方・考え方につなげる「つないでいこう算数の目」を設定することで、学んだことを生活や次の学習へ生かすことができるよう工夫されている。 「いかしてみよう」や「ますりん通信」で学習と生活のつながりを示し、世界で活躍する方々が語る「私と算数」を掲載することで、算数の身近さや有用性を実感することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年以上の「ふくろう先生のなるほど算数教室」では、算数の問題や話、算数を生かして仕事をされている方を紹介することで、算数のよさや楽しさを味わうことができるよう工夫されている。 「算数たまてばこ」や「読み取る力をのぼそう」を掲載することで、学習を生かした活動をしたり、資料やデータを的確に読み取る力を伸ばしたりできるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学期の終わりの「算数をつかって」では、SDGsに関連した題材を扱うことで、算数で学んだことが、社会に役立つことを意識できるよう工夫されている。 6年では、別冊「中学校へのかけ橋」を設け、6年間で学んだことの振り返りをしたり、中学校の学習内容に触れたりすることで、円滑な移行がなされるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

発行者		教 出	啓林館	日 文
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、 確かな学力の育成を図る上での特長	観点 (5) 用業思 れ用業思 ていて考 るか。の 表現程 し。や 伝式判 え合表断 う活、 動がグ 工ラフ 夫さな さを、 言	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて発表したり話し合ったりする活動を随所に設けることで、言語活動を通して表現力が育成されるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年以上に「見方・考え方を深めよう」の単元を設定することで、問題解決の場面で、図や表、式に表して考えたり伝え合ったりする活動ができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数、式、図、表など様々な表現方法を用いて発表する場を例示し、巻末では、式、図、言葉の関連や図のかき方を示すことで、それらを用いて表現できるよう工夫されている。
	(6) 数学の よさ によ うに 工 夫 さ れ て いる か。 算 数 で 学 んだ こ と を 生 活 や 学 習 に 活 用 し よ う と	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元末の「学んだことを使おう」では、算数で学習したことを日常の場面から見付けたり、算数を使って日常の問題を解決したりする活動を取り上げることで、算数のよさを実感できるよう工夫されている。 ・ 「もっとやってみよう」「算数ひろば」「よくあるまちがい」や、4年以上の巻末「広がる算数」により、学習を広げたり、実生活とのかかわりに触れたりすることで、児童の興味・関心を高めるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「買えますか？買えませんか？」「見積りを使って」といった学習を活用する場面や、「算数の自由研究」などを掲載することで、日常生活と算数のかわりを実感できるよう工夫されている。 ・ 6年巻末の「未来へのとびら お仕事インタビュー」では、算数とつながる様々な職業を紹介し、算数の有用性を示すことで、算数を学ぶ意義を実感できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「使ってみよう」では、作業的・体験的な活動や、学習したことを実際の場面で活用する活動の充実を図ることで、算数のよさや楽しさを味わうことができるよう工夫されている。 ・ 「算数ジャンプ」では、算数で学習した単元領域だけでなく、他教科や日常生活とも結び付けた総合的な学習問題を設け、学びを生かすことができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

算数

発行者		東 書	大日本	学 図
観点				
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長	(1) に文章は、豊かな記述内容となっており、質・量ともに	<ul style="list-style-type: none"> 重要な語句に色を付けたり、まとめの記述で大切な部分に太文字を使用し波線を付けたりすることで、学習内容の理解が深まるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 重要な語句が強調されるようゴシック体で示したり、用語に適宜振り仮名を付けたりすることで、文章の理解が容易にできるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に「この本で出てきたこと」を掲載し、算数の用語や記号を索引できるようにすることで、重要な用語が確認しやすくなるよう配慮されている。
	(2) 写真や挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関	<ul style="list-style-type: none"> 実物の写真を豊富に使用することで、児童の興味・関心を高め、実生活との関連が意識しやすくなるよう配慮されている。 単元末に「いかしてみよう」「たしかめよう」「つないでいこう」のコーナーを掲載することで、視点をもって学習を振り返ることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元のはじめに、大きな写真や挿絵等を掲載することで、新しい学習への興味・関心や見通しをもつことができるよう配慮されている。 巻頭に「算数の大切な考え方」や「ひらめきアイテム」を掲載することで、それらを手掛かりとしながら、意欲的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体物を操作する学習場面では、児童が実際に操作をしている写真を掲載することで、活動がイメージしやすいよう配慮されている。 4年以降の割合の学習では、テープ図と関係図を関連させて考える場면을繰り返し設定することで、確実に理解することができるよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

算数

発行者		教 出	啓林館	日 文
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長	観点			
	(1) 文章は、豊かな記述内容となっており、質・量ともに	<ul style="list-style-type: none"> まとめなどの表記では、重要語句を太文字で表記し、新出の用語は赤文字にすることで、大切な部分に着目することができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「めあて」や「まとめ」を、赤文字で目立つように掲載することで、本時で学習する内容が分かりやすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「問題」や「めあて」、「まとめ」とその他の文章の書体を変えることで、重要な言葉などを着目しやすくするよう配慮されている。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関	<ul style="list-style-type: none"> 単元末では、見方・考え方についての4コマ漫画を掲載することで、学んだことのよさや見方・考え方を、楽しく振り返ることができるよう配慮されている。 巻末の「学びの手引き」では、算数用具の使い方を連続写真を用いて示すことで、知識・技能の習得の手助けとなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階を考慮した挿絵を掲載することで、楽しい活動をイメージしたり、問題の理解や解決に役立ったりすることができるよう配慮されている。 図のかき方を学ぶ場面では、図をかいたノートの写真を掲載することで、かき方を理解しやすいよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにある物の大きさや重さを把握することができる写真を掲載することで、児童が量感をつかみやすくなるよう配慮されている。 「算数ノートをつくろう」では、ノート全体のレイアウトを掲載することで、ノートづくりの方法を分かりやすく示すよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

算数

発行者		東 書	大日本	学 図
観点				
3 学習効果や表現や体裁の長さ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適	<ul style="list-style-type: none"> ・図やグラフでは色の区別だけでなく、形や模様を工夫して示すことで、各項目が表していることを、正確に識別できるよう配慮されている。 ・使用する色数を減らし、淡い配色を基本としたり、記号の形を基本図形に寄せたシンプルなものにしたことで、学習に集中できるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の区切りの目安を示す「砂時計マーク」を掲載することで、学習時間の目安が分かりやすくなるよう配慮されている。 ・「問題をつくろう」「自分で考えよう」など、問題解決の過程を枠で囲み分かりやすく示すことで、学習の流れを把握しやすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ページ下部に、次の学びにつながる吹き出しを挿入することで、興味・関心を持続させることができるよう配慮されている。 ・見方・考え方を「マトメール」などのキャラクターで表し適宜示すことで、見方・考え方に着目しやすくなるよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

算数

発行者		教 出	啓林館	日 文
3 学習効果や表現や体裁の良さ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適	<ul style="list-style-type: none"> 抽象度の高い算数用語は、言葉の対比や図解などで示すことで、意味が捉えやすくなるよう配慮されている。 識別しやすい配色を用いるとともに、図版に色名を付記することで、色調以外でも区別できるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文に登場する児童の問いや気付きに「めぼえ」マークを付けることで、課題に着目しやすくなるよう配慮されている。 各単元の始めのページを色付きの枠で大きく囲み、身近な題材や活動を掲載することで、単元の始まりが分かりやすいよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 算数で使いたい見方・考え方を、切り取り式の「学び方ガイド」として巻末に綴じ込むことで、いつでも参照できるよう配慮されている。 用語の説明と「まとめ」を異なるデザインの枠で囲むことで、知識として知っておくべき用語なのか、めあてに対する学習のまとめなのかを区別できるよう配慮されている。